

設 計 概 要 書

■量子科学技術研究開発機構（千葉地区） RI棟・第2研究棟の解体に係る切り回し設計

1. 業務概要

- 量子科学技術研究開発機構（千葉地区）構内のRI棟・第2研究棟の解体に係る切り回し設計を行う。

1) 解体建物等の概要

- ①R I 棟：鉄筋コンクリート造地上・2階建 昭和35年竣工
（建築面積：1093.65㎡、延床面積：2158.85㎡）
- ②第2研究棟：鉄筋コンクリート造地上・4階建 昭和42年竣工
（建築面積：532.00㎡、延床面積：1812.00㎡）

2) 各種インフラの概要

上水道管、井戸水管、排水管、ガス管、電力ケーブル6.6kV（管路含む）、通信ケーブル（LAN、電話、火災報知設備、放送設備、中央監視設備等）、街路灯等

2. 基本整備方針

- RI棟・第2研究棟の解体に係る切り回し設計を行う。
- 別図で示す範囲の上水道管、井戸水管（上水道管、及び井戸水管は、老朽化した周辺施設地下に埋設されていることから、構内道路地中を通した切り回しを計画すること。）、排水管（排水管は降雨時の排水能力が不足しているため、下流排水管、及び下流で合流する排水管の切り回しも併せて計画すること。）、ガス管、電力ケーブル6.6kV（管路含む）、通信ケーブル（LAN、電話、火災報知設備、放送設備中央監視設備等）、街路灯の各種切り回し、撤去等の周辺環境整備（インフラ）設計を行う。切り回し時の配管・配線ルート見直しを含め設計を行うこと。
- 配管・配線類は、量子科学技術研究開発機構（千葉地区）の施設を運転・運営しながら工事を進める必要があることから、配管・配線類の切り回しは、切り替え時のみ停止できるものとして計画すること。なお、運用に支障が出る場合、仮設設備も計画すること。
- また、将来利用のため、分岐口も計画すること。
- 設計範囲の樹木類について、移植及び伐採抜根を含め計画をすること。
- 量子科学技術研究開発機構（千葉地区）には、業務上日常的に乗用車、搬出入用トラック、タンクローリー、歩行者等が通行しているので、導線を確保し通行に支障のないよう計画すること。

3. 業務内容

- RI棟（放射線管理区域あり）・第2研究棟の切り回し設計
- 配管・配線類の切り回し設計
- 解体建物に接続されている各インフラの閉栓設計
- 工事時に必要な各官庁への届出の有無 ※必要に応じた打ち合わせ等を含む。

4. 注意事項

- 関係法令・規則を満たす計画とすること。
- 環境に配慮した技術を積極的に利用し、コストの低減を図る。
- 近隣住民に近接しているため、低騒音・低振動機器を使用する計画を図る。
- 業務上、知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

・本業務に伴う関係官公庁への提出・申請書類作成作業、及びこれらに係る費用は、全て受注者負担とする。また、発注者が行う申請手続きを代行して行うものとする。

部課（室）名 安全管理部 建設工務課
要求者氏名 片岡 尚吾